

賀

が

【5年】
12画
マカカ加加加加加加加
【5年】

なりたち 財貨の意味の貝と加との会意形声字。祝辞の上に財貨を贈って「いわう」という意味の字。人に贈り物をして祝うのが本義だが、今は「お祝いの言葉」の「意味」に用いる。

▼「いわう。いわいの言葉を述べる。」
祝賀：祝うこと。【例】祝賀会
慶賀：めでたいことを祝うこと。
年賀：新年を祝うこと。【例】年賀状

年賀：新年を祝うこと。【例】年賀状
賀状：新年や天皇誕生日などに皇居に行つて、祝いの気持ちをあらわすこと。
賀状：祝賀の手紙。特に年賀状のこと。

賀詞：祝いの言葉。
賀正：正月を祝うこと。年賀状に書く言葉。
賀春：新春（正月）を祝うこと。年賀状に書く言葉。

よみかた 謹賀
賀



賀

賀架

架

カ

【5年】
9画
マカカ加加加架架架架
【5年】

なりたち 木を加えるという意味の、木と加との会意形声字。柱と柱の間に「木」をかけて「架」を成した字。「木を渡す」ことを表した字。「木をかける」こと。また、木をかけて作った「たな（物をのせる台）」のこと。

▼「たな。台。書架：本棚。画架：カンバスを立てかけておく三脚。担架：けが人や病人をのせて運ぶ道具。十字架：罪人をはりつけにする。十字架の台。また、キリスト教で宗教的シンボルとする十字形のしるし。（キリストが十字架で処刑されたこと）から。」



架

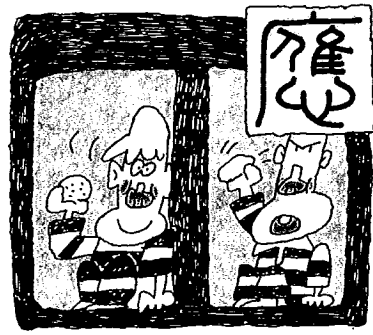
応

オウ

【5年】
7画
一广广広広広広広
【5年】

なりたち 旧字体は應。廣（むね）の意味の雁と心との会意形声字。相手の胸の中がびんと心に「びびく」ことを表した字。相手の呼びかけに対して「こたえる（反応すること）」。

▼「こたえる。応答：問いや呼びかけに答えること。応諾：頼みを承知すること。応対：相手になつて受け答えをすること。【例】来客に応対する。相手にこたえて動く。反応：①ある働きかけに「応じて起こる動き。②化学で、ある物質が他の物質とふれ合つて起こす変化のこと。応戦：相手の攻撃に応じて戦うこと。応急：急場に「応じた間に合わせる。【例】応急手当。ふさわしい。相応：ちよつと釣りあいがとれていること。【例】身分相応。応募：応用・一応・感応・供応・呼応・順応・適応。



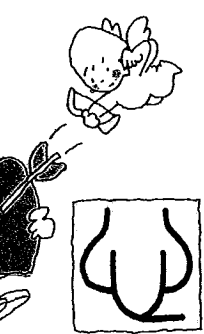
應

心

シン

【2年】
4画
一フフフ心
【2年】

なりたち 心臓の形をかたどつた象形字。心臓のこと。昔は、心臓が精神活動の中核だと考えられていたので、「こころ」の意味に用いられるようになった。また、「まん中」の意味にも用いられる。



心



▼「こころ。精神。心身：心と体。【例】心身の健康を保つ。本心：本当の心。【例】本心を打ち明ける。変心：心を変えること。気持ちや考えが変わること。感心：立派だと心に感じること。意外：思いもよらないこと。意外で残念なこと。▼「まんなか。大切な所。中心：①まんなか。②最も重要な所。【例】事件の核心に迫る。▼「まんなか。特別なよみかた↓」

心